

広島県廿日市市との「包括連携協定」の締結について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、広島県廿日市市（市長 松本 太郎）と、幅広い分野での包括連携協定を締結しました。

本協定の締結により、廿日市市が進める諸施策に、当社が保険事業や社会貢献活動等を通じて培った知見やノウハウを提供します。また、当社が2020年4月から展開している「地元の元気プロジェクト（注）」の一環として、当社の市内営業網や全国規模のネットワーク（1,100を超える拠点、48,000人を超える従業員）、および関係各方面との広範な連携を活用して、廿日市市とともに地域社会の発展に取り組んでまいります。

また、当社はこれまで、健康増進事業の推進や地域経済の活性化支援等を目的とした連携協定を各地域の地方自治体や金融機関等と進めており、今後も引き続き、地域課題の解決や活性化に向け取り組んでまいります。

（注）当社従業員が「ひと」や「職場」、「まち」をつなぐ担い手となり、地域にあたたかい「つながり」をお届けすることで、地域のみなさまの暮らしの充実や地域課題の解決に貢献する全社横断の取組みプロジェクト詳細：<https://www.meijiyasuda.co.jp/brand/ld/jimotonogenki/>

■広島県廿日市市との「包括連携協定」の締結について

1. 名称

「廿日市市と明治安田生命保険相互会社との健康増進等に関する包括連携協定」

2. 主な連携事項

- （1）市民の健康づくり、高齢者のフレイル予防に関すること
- （2）認知症予防と支援体制の推進に関すること
- （3）高齢者、障がい者、子ども等への支援及び見守りに関すること
- （4）地域や暮らしの安心・安全に関すること
- （5）その他、地域社会の活性化及び住民サービスの向上に関すること

以上